

第二部では、校舎玄関前で閉校記念碑の除幕式が行われ、昼食をはさんで、舞台を外に移動。校舎と赤尾島の真ん中に特設された潮風ステージでは、晴れ渡る空の下、津奈木舞鶴太鼓の演奏や津軽三味線奏者の高崎裕士さんの演奏が響き渡りました。「学び舎よ永遠に」と題した体育館ステージでは、千々岩勝次郎さんの語りで写真をスライドし、昔を振り返る「赤崎小歴史物語」、高木チズエさん・諫山カズ子さんの力強い舞踊、老友会による津奈木版桃太郎の「實太郎物語」、PTAによる「よさこいソーラン」、卒業生でプロのギタリストで作曲家の岩崎貴文さんの歌などが披露され、式典に華を添えました。また、23人の在校生が、一人一人赤崎小の思い出を語り、感謝の思いを込めて赤崎太鼓を演奏。大盛り上がりの中に式典の幕は下りました。

3月24日には、卒業式が行われ、3人の児童が最後の卒業生として赤崎小学校を巣立っていきました。卒業式後に、諫山寅太郎さん（日添地区）のご好意により、テレビでも活躍されている「DOYO組」が招かれ、美しい歌声で「仰げば尊し」や「ふるさと」などを披露。最後にふさわしい心に残る一日となりました。



↑赤崎の海に舞鶴太鼓が力強く響きました。



↑高崎裕士さんと出口友理恵先生が校歌を演奏。皆で歌いました。



↑たくさんの方が赤崎小にかけつけました。



↑大好きな赤崎小へ贈る赤崎太鼓の演奏。



↑PTAによる勇ましい「よさこいソーラン」



↑老友会による「ふるさと」の合唱



→体育館ステージを見つめる児童たち。とても楽しそうな笑顔です。



↑閉校式実行委員会の方が作られた“ありがとう赤崎小”の文字が夜の校舎を照らしていました